

島田利夫 としとく 詩人。昭和四年十一月十四日群馬縣前橋市桑町生れ、
 (二十一年八月十九日歿(一九九一迄))。昭和二十二年前橋中學校卒。在
 學中詩作を始め、岡崎清一郎の作品を送りて激賞を受け、滝澤美明等
 の詩のグループに参加。法政大學豫科佛文科に入るも一カ月程で退き
 歸郷。雜役夫などとして働く傍ら詩作と登山の没頭、詩誌「ラッパ」を
 發刊して北川冬彦、草野心平等の認められた。また日本共産黨に入黨
 して、在任の桂萱村細胞の所屬。(二十二年群馬縣黨大會で懸帯任委員
 の選ばれてのち程なく、谷川岳一ノ倉澤の單獨登攀中墜落死した。
 遺稿詩集『夜どおしっぱい』(昭和二十三年十一月十五日群馬・島
 田利夫遺作集刊行会編輯、増補改題『夜空は滯青』チヤン五十二年十月十六
 日群馬詩人会議)刊。

